

七ヶ浜町社協だより

2026
5月号
Vol. 135

Shakyo Letter

シャキョーレター

来てくれる、
それだけで安心。



日常の見守りが、七ヶ浜の安心へ

七ヶ浜町社会福祉協議会では、一人暮らしの高齢者などを対象に地域高齢者等見守り支援事業を行っています。

今回は、実際に訪問を受けている方の声をご紹介します。



「ひとりじゃない、そう思える時間。」

稲妻 安夫 さん

一人でいると、どうしても人と話をする機会が少なくなってしまうんだよね。だから、つい家の中で過ごす時間も長くなってしまって。

でも、訪問に来てくれると何気ない会話ができる嬉しいよ。特別なことを話すわけじゃないけど、その時間があるだけで気持ちが楽になるんだ。
“気にかけてくれている人がいる”と思うだけで安心するし、また次も頑張ってみようと思えるよ。

「会える日が、待ち遠しい。」

鈴木 桂子 さん

来てくれる日がちょっとした楽しみなんです。体調のことや日常のことを気軽に話せるのがありがたいですね。

何気ないおしゃべりなんですけど、その時間があるだけでほっとします。誰かと顔を合わせて話をするって大事なことだなと感じます。

顔を見て話せるだけで元気をもらっています。



「会いに来てくれる人がいる。それだけで、人は前を向ける。」

訪問活動は、特別なことをする時間ではありません。日常の中にある小さな安心を積み重ね、暮らしを支える大切な時間です。

顔を合わせ、言葉を交わす…その積み重ねが「ひとりではない」という確かな安心へとつながっています。

これからも七ヶ浜町社会福祉協議会はその安心を途切れさせることなく、地域に届け続けてまいります。

第5回 七ヶ浜町お宝発表会

令和8年2月19日(木)、七ヶ浜町中央公民館にて「第5回七ヶ浜町お宝発表会」を開催し、地域の皆さんなど215名(過去最多)にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。

当日は、講師による講話として「互近助(ごきんじょ)の力」をテーマに自助・互助・共助・公助の大切さについてお話しいただきました。日頃からのご近所同士のつながりが、安心して暮らせる地域につながることを改めて感じる機会となりました。

後半では、七ヶ浜町老人クラブ連合会、七ヶ浜町地域見守り隊の皆さんから、地域で行っている活動の発表がありました。普段の「見守り活動」や「地域の支え合い」の取り組みが紹介され、参加者の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

今回の発表会を通して、「地域で支え合うことの大切さ」を改めて共有することができました。これからも、誰もが安心して暮らせる地域づくりを皆さんで進めていきたいと思えます。



▲七ヶ浜町老人クラブ連合会 渡辺副会長、鈴木会長



▲七ヶ浜町地域見守り隊 遠藤氏、近江氏

「ひきこもり」を考える

令和8年3月19日、七ヶ浜町民生委員児童委員協議会定例会にて、社会福祉法人わたげ福祉会秋田麻美子様による「ひきこもり支援～民生委員ができること～」と題した研修会を開催いたしました。

ひきこもりの問題は一筋縄ではいかないことが多く、良い方向に向かうためには、周りのサポート力が重要となります。一人でも支援を必要とする方が、民生委員児童委員の皆様や社協としっかり手を取り合えるようお願い込めた、貴重な研修となりました。



講師 社会福祉法人わたげ福祉会
仙台市ひきこもり地域支援センターほわっと・わたげ副センター長 秋田麻美子 様

心からの御礼 ご協力いただきました皆様 お米の配達ありがとうございました

七ヶ浜町からの委託事業である「令和7年度物価高騰対応見守り支援事業」にて、ご協力いただきました七ヶ浜町民生委員児童委員、並びに区長の皆様、誠にありがとうございました。おかげさまで、令和8年2月、3月に延べ1663世帯にお米をお届けすることができました。重いお米を何度も運んでいただき、心身共にご負担をおかけしたと思いますが、町民の皆様からは感謝のお声が届いていることをお伝えさせていただきます。

これからも地域福祉を充実させていくため、社協事業へのご協力とご理解をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。



被災から15年
これからの見守りの在り方を見出していこう

令和8年3月12日（木）七ヶ浜町中央公民館大会議室を会場に令和7年度災害公営住宅入居被災者見守り相談ネットワーク構築事業「七ヶ浜町見守り連絡情報交換研修会」を開催しました。

5地区（松ヶ浜、菖蒲田浜、花淵浜、吉田浜、代ヶ崎浜）の区長や役員の方が参加され、仙台白百合女子大学教授志水田鶴子氏を講師に「“お互いさま”の地域づくり～支え合いが、あなたと七ヶ浜を健康にする～」を講話いただきました。

その後、地区毎に意見交換を行い各地域の課題や目指す目標等、情報共有ができました。この事業は令和7年度で終了となりましたが、各地区とも見守りやコミュニティ構築の必要性を感じ地区主体での活動を継続していく意見等をいただきました。

社協としても地区の皆さまの取り組みを後方から支え、必要に応じて関係機関とつなぐ役割を続けてまいります。



◆七ヶ浜町社会福祉協議会 福祉学習推進事業◆
新しい門出を心からお祝いします



令和7年度の七ヶ浜中学校、向洋中学校の卒業生に卒業記念品（ボールペン）、また、令和8年度の亦楽小学校、汐見小学校、松ヶ浜小学校の新入学生に入学記念品（防犯ブザー）を贈呈させていただきました。卒業生、新入学生の皆さんおめでとうございます。

入学者数 亦楽小学校 29名 松ヶ浜小学校 27名 汐見小学校 49名
卒業生数 七ヶ浜中学校 68名 向洋中学校 78名

▶入学記念品の防犯ブザー



▶卒業記念品のボールペン



令和8年度高齢者交流機会確保事業のご案内

ひとり暮らしシニアの
笑顔を支援!!

七ヶ浜町社会福祉協議会では、75歳以上の単身高齢者の方を対象に①土曜喫茶室、②おせち料理宅配、③誕生日プレゼント配布事業を行っております。



集いの場に参加したい、または見守りを希望される方につきましては、
社会福祉協議会までご連絡ください。

みなさまの地域に 「新しい顔」が お邪魔します!

令和8年4月1日より、社協に新しい職員が入職いたしました。いち早く町民の皆様の方力になれるよう、全身全霊で職務に励んで参りますので、宜しくお願い申し上げます。



菅原陸斗

黒澤奈々美

局長 後藤謙一

令和8年度ボランティア保険の更新お忘れなく!!

個人・団体でボランティア活動をされている方々のためのボランティア保険、地域の集いの場へ参加される方々向けの行事保険・いきいきふれあいサロン保険のご案内です。

種類	ボランティア活動保険	ボランティア・福祉行事保険	いきいきふれあいサロン保険
保険料	個人・団体 1人につき ・Aプラン 300円 ・Bプラン 500円 ・Cプラン 700円	1日1人につき ◆A区分 30円・・・サロン活動、バザー等 ◆B区分 136円・・・運動会、防災訓練等 ◆C区分 266円・・・サッカー、ラグビー等 ※最低20名からの加入になります。	1日1人につき 20円 ※1日あたりの参加者が 平均20人以上。
補償期間	加入日の翌日から 令和9年3月31日まで。	行事開催期間	行事開催期間

各保険商品の補償金額や保険料等についての専用のパンフレットをご用意しておりますので、七ヶ浜町社会福祉協議会までお問い合わせください

財務省 東北財務局より『多重債務者相談窓口』のご案内

返しきれない借金のごことで悩んでいませんか?

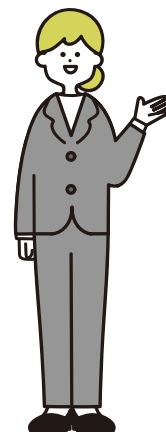
東北財務局では、借金を抱えてお悩みの個人や事業者の方々の借金に関する相談を専門相談員が電話又は面接にて受け付けています。一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。(相談無料、秘密厳守)

- 受付時間:月～金 (祝日、年末年始を除く)

9:00～12:00、13:00～17:00

- 連絡先:東北財務局 金融監督第三課

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟5階
022-266-5703 (直通)



会長から 町民のみなさまへ

七ヶ浜町民の皆様には、日頃より当会事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から15年が過ぎ、あの頃とは異なる社会情勢に直面し、向き合う生活課題が複雑化しております。

本町におきましても高齢化等により地域の中で見守りや支援を必要とする方々が増えてきております。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域における「人と人とのつながり」や「支え合い」の力がこれまで以上に大切なものとなってきます。

そのような中、当会では町と協議を重ね、地域に暮らす高齢者の皆様等が安心して日常生活を送ることができるよう、新事業として「地域高齢者等見守り支援事業」を立ち上げ、地域の中でのゆるやかな支え合いの輪を広げてまいります。また地域住民や関係機関との連携を図りながら、困りごとや不安を抱える方々に寄り添った支援に努めてまいります。これからも、地域の皆様とともに支え合いの地域づくりを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会長 大町 睦夫

令和8年度事業計画

1. 基本方針 《ひととひとがつながり支えあい生きがいをもっていくる》

令和8年度の事業計画につきましては、令和元年度に策定した第2次七ヶ浜町地域福祉活動計画(2019年度～2028年度)における基本理念《ひととひとがつながり支えあい生きがいをもっていくる》および「ソーシャル・キャピタル(人と人との関係性やつながりを資源として捉え、評価する考え方)の醸成」に掲げる方向性を基に、一人ひとりができることを一つひとつ行動に移し、「支え合い」「見守り」の輪を広げ、生活そのものを支える力を、皆様と共に高められるよう事業を推進してまいります。

また、大きな転換期を迎えた復興支援につきましては区切りをつけながらも、新たに「地域高齢者等見守り支援事業」を構築し、地域に暮らす高齢者等が安心して日常生活を送ることができるよう、訪問活動を通して住民に求められる社会福祉協議会としての在り方を示してまいります。

さらに、地域コミュニティにおいても、各地域がそれぞれの独自性を生かしながら主体的に活動を推進できつつあることから、充実したコミュニティが構築できるよう、後方支援としての社会福祉協議会の機能を果たすとともに、住民主体による持続可能な地域づくりの推進につなげてまいります。

これらの取組を実効性あるものとするため、社会福祉協議会は地域の現状や住民の声に真摯に向き合いながら、住民並びに各種関係機関との連携を基盤に、共生社会の実現に向けて危機管理意識と改革意識を持ち、全職員一丸となって次の事業を着実に推進していく所存です。

2. 経営方針

基本方針の見出しにある《ひととひとがつながり支えあい生きがいをもっていくる》は、七ヶ浜町社会福祉協議会の基本理念でもあり、この理念の具体化に向け、以下を経営方針として事業を展開するものです。

- (1) 関係機関・関係団体等とのネットワークの強化
- (2) 地域住民が支え合う福祉のまちづくりの推進
- (3) 安心して暮らせる福祉サービスの充実
- (4) より信頼される法人を目指した組織体制の強化

3. 重点事業

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進を図るため、活動場所の紹介や団体間の連携を進めるとともに、広報誌等を活用した情報発信により、活動参加のきっかけづくりに取り組みます。

また、近年多発する災害に備え、東日本大震災等の経験を活かした災害ボランティアセンター運営に関する研修や、日頃からの防災意識の向上に取り組みます。

これらの取り組みを通じて、ボランティアセンター機能の充実を図ってまいります。

(2) 福祉学習の推進

住民自らが福祉を身近な課題として認識し、主体的に行動する力、高齢者や障がいを持つ方の暮らしを学ぶ機会を作るため、地域や福祉団体、ボランティアグループなど地域社会資源との連携を図り、身近な福祉課題を共有する場の設定が必要と考えます。併せて、東日本大震災での経験を風化させないため、小中学校との連携や地区住民と共に次世代に伝承してまいります。

(3) つどいの場づくりの推進

高齢者の生きがいづくりや地域交流の機会を提供するため、75歳以上の単身高齢者を対象に高齢者交流機会確保事業を実施してまいります。

また、各地区のご近所同士の気軽な声掛けや、お茶を飲みながらの世間話等をする自主的なつどいの場づくりへの支援を行い、顔の見える関係性の構築を地区住民の皆様と共に進めてまいります。

(4) 地域支え合い活動の推進

地域における支援が必要な方々を対象に、平時から災害時まで切れ目のない地域支え合い活動を推進します。単身高齢者や高齢者のみ世帯等に対し、定期的な訪問による安否確認や生活状況の把握を行い、困りごとへの相談対応や関係機関との連携を図ります。併せて、サロン活動や住民同士の支え合い「ゆるやかな見守り」を通じて孤立を防ぐとともに、専門職等に相談できる総合的な相談支援体制を講じ、安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。

(5) 地域子育て支援の推進

頼れる人が近くにいない核家族や、共働き等の環境で子育ての支援を必要としている方のために、子育て経験者や子育てに関心を持つ地域のみなさんと一緒に、豊かな人間関係のもと、安心して子育てができ、子どもたちが安全に楽しく遊び・学べる等の支援ができる環境づくりに取り組んでまいります。

また、障がいのある子どもをサポートするための相談支援や、活用できる福祉サービスについての情報提供、情報交換会や交流会等保護者同士がつながり合える場の創出に、関係機関とも協力し、取り組んでまいります。

(6) 社協の運営・組織の基礎体制整備

各種事業や社協だより、ホームページを通じ、社協をより身近に感じていただくことで、一般会員の維持と賛助会員・特別会員の増加を図り、活動基盤となる限られた財源を適切に各種事業へと配分します。

これからも町民に信頼される法人であり続けるために、役職員一丸となり、地域福祉へ還元していけるように取り組んでまいります。

特別会員の紹介

七ヶ浜自生苑は、町内にお住いの高齢者が住み慣れたこの七ヶ浜町で暮らし続けられるよう支援する「地域密着型」の特別養護老人ホームです。

潮風薫る、 安らぎの場所

七ヶ浜自生苑



ぬくもりに包まれた毎日

少人数で生活するユニットケアを取り入れ、家庭のような温かい雰囲気の中で、利用者一人ひとりの思いに寄り添ったケアを大切にしています。

また、ご家族や地域とのつながりも大切にしながら、地域の福祉を支える拠点として、これからも皆様に寄り添い続けていきます。



小さなお手伝いで 大きなよろこびを

自生苑ではボランティアを受け入れております。入所者の皆様の生活を、潤いと彩りに満ちたものにするお手伝いをさせていただける方がいらっしゃいましたら、当施設までご連絡下さい。お待ちしております。



介護老人福祉施設 七ヶ浜自生苑

〒985-0823七ヶ浜町遠山5丁目5-45
TEL:022-355-7316/FAX:022-355-7318



編集 / 七ヶ浜町社協広報部会
発行日 / 令和8年5月1日
印刷 / 一般社団法人 COM'S

発行 / 社会福祉法人七ヶ浜町社会福祉協議会
〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153
TEL (022) 349-7781 FAX (022) 349-7782
Mail sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp
URL <https://shakyo-shichigahama.com/>



七ヶ浜社協
ホームページ